

センサ基板の発光 LED シルクの誤植のお詫びと訂正

この度は、Pi:Co Classic Ver3.0 をご購入いただきありがとうございます。基板のシルク記号(A と K)が逆であることが分かりました。お客様ならびに関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、訂正させていただきます。

Pi:Co_Clasic_3 パート 2 取扱説明書_ハードウェア製作編 Ver1.0 の 29 ページにあります発光 LED のアノードとカソードのシルクが逆になっています。A と K を読み替えて進めてください。写真の LED の向きは正しい向きに挿入されています。訂正後のアノードとカソードに位置は、下記の黄色および赤文字になります。

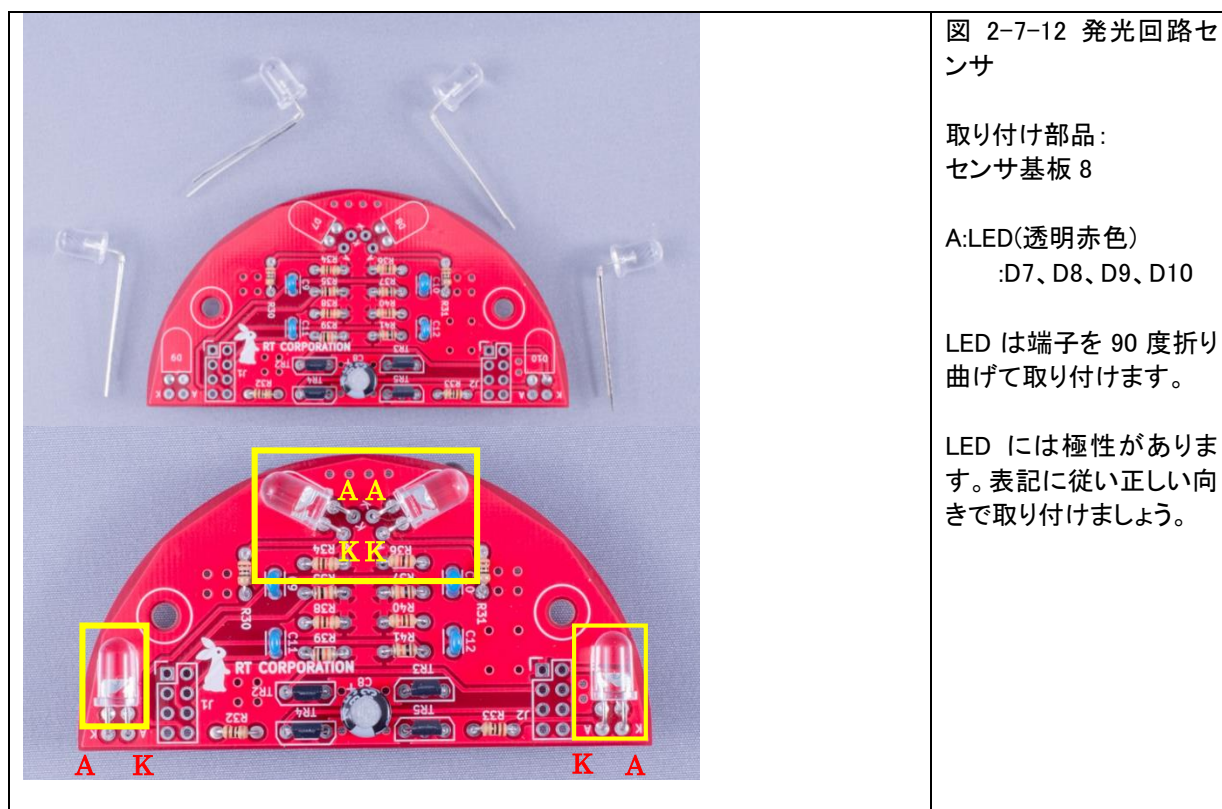


図 2-7-12 発光回路センサ

取り付け部品:
センサ基板 8

A:LED(透明赤色)
:D7、D8、D9、D10

LED は端子を 90 度折り曲げて取り付けます。

LED には極性があります。表記に従い正しい向きで取り付けましょう。

お客様ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。今後このような事態が発生しないよう社内管理体制の一層の強化に取り組んで参ります。引き続き弊社ならびにPi:Co Classicをご愛顧いただきますようお願い申し上げます。